

”介護難民”の発生を防ぐ取り組みは

福祉

ヘルパーの人材確保に努める

問 訪問事業所のヘルパーが不足しているが、原因は。また、そのような状況の中で利用者の要望に対応できているのか。

長寿福祉課 面識のない方の自宅を訪問することに抵抗を感じ、募集をかけてもなかなか集まらない状況と聞いている。まずは町主催の初任者研修を受講することでヘルパーになれる人材を確保する取り組みをしていきたい。なお研修の定員は20名を予定している。

意見 ヘルパー不足は低賃金であることも原因と考える。また、今後は事業所の人員不足の解消に加え、いわゆる”介護難民”の発生防止も課題である。介護を必要としている人が適切なサービスを受けられるよう、町として力を入れて取り組むようお願いする。

介護が必要ではあるものの、家庭だけでなく病院や施設でも介護を受けることができない方のことです。

用語解説

介護難民

町民の意識を高めるため周知を

浄化槽

浄化槽の普及促進に努める

問 浄化槽は町として、さらにSDGsの観点から重要であり普及促進していくべきである。浄化槽の有効性・必要性についての町民の認識はどれくらいなのか。

上下水道課 4年度末時点で町内の浄化槽設置が済んでいるのは860基で人数は2800人程度である。広報やホームページで毎年度浄化槽の制度の周知を行っている。下水道については、5年度に道の駅やまだでのイベントを開催したり広報で特集記事を組んだりしたが、浄化槽も6年度は同様の取り組みを行いたい。

要望 浄化槽の必要性がなかなか伝わっていないと感じている。地球・自然を守るうえでとても大切なことであるので、町民に分かりやすいような周知の仕方をお願いする。

出産・子育て応援ギフト事業の内容は

子育て支援

妊娠・子育て期の経済的負担を軽減

問 事業の内容は。

健康子ども課 4年度からの実施事業であり、5年度までは現金給付している。6年度からは「Webカタログギフト」というWebサイト上で5万円相当分選択した商品を届けるシステムの委託料を計上している。県が開発したシステムに賛同し事業をするもの。Web開発事業者との契約となるため、これまで現金給付だったものが業務委託料に計上されている。人数は妊娠届時と出生後でそれぞれ70人を予定している。

